

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	発達支援室クオール伊勢（くじら組）			
○保護者評価実施期間	2025年12月8日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	2025年12月8日 ～ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性に合わせた療育の提供ができること及び 近い年齢のグループ療育が提供ができています。	子どもをよく観察しカンファレンスを重ね、一人ひとりに 何が必要かを検討し実施している。	保護者の方や関係機関との連携を深め、子どもの成長を見守 り療育を提供していく。 学習会や研修などで、専門知識や技術の習得を行い、療育の 質の向上を目指していく。
2	常勤児童指導員及び保育士を各クラス3名ずつ配置し、 必要な場合は、個別対応にも応じることができている。	ほとんどが常勤職員のため、共通認識ができやすく、責任の 所在もはっきりするので、療育の質を高く保てる。	学習会や研修を重ねて、子どもの発達状況に応じた療育を提 供していきたい。
3	グループの中に小児科医院があるので、医療機関との連携が 取りやすい。また、必要な場合は知能検査及び発達検査の実 施ができる。	保護者との相談の中で医療機関への相談が望ましい場合は受 診の紹介をして不安を解消できるようにしている。	保護者の方との面談を実施する中で、どのようなことに対し て不安やご心配になっておられるのかを理解できるように努 めていく。
4	子育てに対して意識の高い保護者が多くおられる。	子どもに対して共通認識が持てるように、面談を大切に している。	保護者の方がご希望されることを実施していけるよう に努力していく。
5	清潔で心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活 空間が確保されている。	汚れた時だけでなく、開室前後には必ず清掃、消毒をしてい ます。来室が楽しみになるような玄関飾りを工夫していま す。のびのびと体を動かすことができるプレイルームがあり ます。	引き続き清潔で心地よい空間作りをしていきたい。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの送迎に関すること。	保護者の方に送迎して頂く場合に、駐車場が狭く、ご迷惑を おかけする場合がある。	近隣の駐車場を空いている時には貸してもらえるようにお願 いしている。また、送迎の時間の時間差ができるようにご協 力して頂いている。 混雑が予想される時間には職員が車の誘導や乗降車の手伝い をして、混雑回避に努めている。
2	戸外での活動ができにくいこと。	近くに子どもたちが利用できる公園等がないため、戸外での 活動に制限がある。	職員の人数が確保できる時には、歩きや車で、公園等に出か けている。
3	保護者同士の交流の機会が少ない。	働いておられる方も多く、交流の場の設定が難しい。	2024年度より交流会を行っているので今後も計画してい く。
4	地域の児童との交流を持つ機会が少ない。	事業所内での活動で完結してしまっている。 個人情報保護の関係上、難しいところがある。	地域で交流できる機会がないか情報収集をしていく。 保護者の方の意見も取り入れ、今後検討していく。